

(別紙様式1)

令和8年度 児童生徒体力づくり推進計画書(小学校用)

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南条小学校

児童が主体的に運動に楽しめる環境を作っていく。
一人一人が目標をもって運動できるようにしていく。

<本校の体力向上の取組みについて>

- 昨年度の結果はほとんどの種目で県平均記録を上回った。しかし、休み時間等には体を動かして遊ぶ児童も多いが、運動が苦手な児童もいる。そのため、体育の授業の導入で尻尾取りやエリアを決めた鬼ごっこなどに取り組んでいき、瞬発力なども鍛えつつ、運動の楽しさを味わえるようにする。
- 授業ははじめの準備運動にストレッチを取り入れ、長期的に柔軟性を養っていく。低学年の段階から実施することで、筋肉の弾力性を育み、運動神経を発達させていく。
- 握力の向上を図るため、準備体操にグッパ体操を取り入れている。
- 業間運動を、火曜日と木曜日の週2日実施する。運動委員会が中心となって下記活動の準備、運営をしていく。冬季の縄跳びは、運動委員会の児童が手本を見せたり、低学年と一緒に跳んだりする機会を設け、全学年が意欲的に縄跳びに挑戦できるようにしていく。また昨年度は、縦割り班活動の交流を深めることも併せ、全校で大縄の8の字跳びにも挑戦した。

1・2学期・・・5分間走及び縄跳び運動

冬季・・・縄跳び運動(持久跳び、縄跳び大会の種目跳び)

<児童の運動習慣の育成について>

- 2学期に行われるマラソン大会前には、期間限定で記録するマラソンカードを配布して意欲を高めていく。マラソン大会後には、上位記録の児童と同様に、多くの周数を走って練習した児童も紹介することを伝え、目標をもって取り組めるようにしていく。
- 現在、各学級にサッカーボールとドッジボールを配布している。外器具室には野球グローブやジャベリックボールなど運動の道具があるため、運動委員会で使用の整備をし、多くの児童が色々な運動に取り組める環境を作っていく。

<その他>

- 学校だよりや学年だよりなどで、体力テストの状況や体育的行事などで児童が一生懸命頑張っている様子を伝えていく。
- 「はぴりゅうスポーツ広場」を積極的に活用するために、情報担当教諭を含めた全教職員と学年に応じたタブレットの使い方について共通認識をもつ機会を設ける。
- すべての生活の基本となる「早寝・早起き・朝ご飯」を呼びかけ、健やかな生活習慣の確立や健康な心身の育成に務める。

(別紙様式1)

令和8年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用） ～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南越前町立湯尾小学校

楽しく運動に親しみ、基礎体力向上に努める児童の育成

<本校の体力向上の取組みについて>

○基礎体力の向上

体力テストの結果において、50m走や立ち幅跳びの平均得点が6を下回っている学年があるという観点から、以下の取り組みを行う。すべての競技において、平均得点7以上を目指す。

- ・陸上や器械運動などの準備運動では、動き作りを取り入れ、体の柔軟性や瞬発力を育てる。
- ・握力の強化のために、準備運動にグーパー体操を行う習慣をつける。

○自ら体力向上に努める児童の育成（主体的・対話的な学びになるように支援する。）

- ・個人の目標設定をさせ、自分の課題を把握させる。その課題を克服するための練習方法などを提案し、選択させる。友だち同士でお互いにアドバイスをするよう指導する。
- ・また、タブレット端末を活用し、児童自身の姿を撮影したり、お手本となる動画を見せたりすることで、児童自身が課題意識を持つことができるよう支援する。
- ・教員には、体育主任による現職教育を実施し、体育に関する知識・技能を高める。

<児童の運動習慣の育成について>

○学校全体で自由遊び時間に外遊びを奨励する。晴れの日には運動場で遊ぶ。（冬季は体育館で）

○冬季には鉄棒を設置し休み時間に利用可能とする。また、体育館を全学年に開放し縄跳びを奨励する。

○体育大会やマラソン大会、器械運動発表会に向けて、運動への意欲や関心を高めるとともに、めあてを持たせ、達成感や充実感を味わわせる。

<その他>

○夏季休業前・体育大会時にラジオ体操指導を行う。夏休み中は、地域のラジオ体操に参加するように奨励する。

○保健の実施

- ・養護教諭と連携して授業を実施する。
- ・歯科医による歯の指導、救急救命士による救急法の指導を計画する。

○「ノーメディア週間」を活用し1週間自分のメディアとの生活を表に書き込み、自分の生活を振り返らせる。保護者からの振り返りも行い、家庭との連携を図る。

令和8年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用）

～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南越前町立今庄小学校

今庄っ子パワーアップ大作戦

一人一人が目標をもって運動に取り組み、体力づくりへの意欲を高める。

<本校の体力向上の取組みについて>

体力テストの結果から「50m走」「立ち幅跳び」の記録がどの学年も県平均より少し低い数値であったことから、走力・跳躍力の向上に努めるために、以下の取組みを重点的に行うこととする。

① 体育の授業における取組み

- ・基礎体力の定着を目指し、単元での本運動を意識した準備運動を取り入れる。
- ・全校で統一した強化運動を行う。主に、跳躍系の運動を行う。
- ・めあてを毎時間明確に提示し、それにおいて各児童が目標をもって取り組んだり、自己評価したりできるような授業づくりを目指す。また、自己の課題の把握や課題解決のために、積極的に、児童にICT機器を活用させる。

② 業間活動における取組み

- ・業間体育は、おおよそ週3日のペースで行い、内容は「時間走」、「エンドレスリレー」の2種類を実施する。雨の日は、縦割り班での8の字とびを実施する。

<児童の運動習慣の育成について>

① 体育委員会における取組み

- ・体育委員会が企画・運営するスポーツイベントを実施する。例えば、児童の特技を披露する集会や動画の作成に取り組んでいく。

② はぴりゅうスポーツ広場を活用した取組み

- ・業間体育で実施した時間走やリレーの記録を入力する。体育委員会が呼びかけていくことで、学校全体で取り組む意識を高めていきたい。また、家庭にも呼びかける。

③ なわとび発表会における取組み（12～2月）

- ・12月からの業間体育ではなわとびを実施する。縄跳びカードを併せて利用して取り組んでいく。

<その他>

① PTAや地域と連携した取組み

- ・体育大会で羽根曾踊り（県無形民俗文化財）、マラソン大会やスキー教室の実施の際には、PTAや地域の方々に協力を依頼する。

② 健康における取組み（5・9・1月）

- ・各学期に1回、生活を見直す期間「ここ・からチェック」を設ける。内容は「就寝時間」などの生活習慣と「心の調子」を顔文字の中から選択することで心身の状態をチェックする。児童が自身の生活を振り返ることができるようにする。

(別紙様式1)

令和8年度 児童生徒体力づくり推進計画書（小学校用） ～元気パワーアップ作戦～

学 校 名 南越前町立河野小学校

健やかな体と豊かな心 ～たくましい子～ 運動が好きになる学校体育の推進

<本校の体力向上の取組みについて>

- ① 大縄大会を企画し、縦割り班で教え合ったり、練習したりしながら、仲間と運動する楽しさや記録の向上を目指して頑張る楽しさを感じられるようにする。
- ② 令和7年度体力テストでは、50m走において全国平均を下回る学年が多かった。業間体育において、週1回程度マラソンやなわとび、リレーを行う。体力を向上させることで、運動に対する自信を付けたり、健康な体を作ったりすることにつなげていく。
また、他人と競ったり、記録の向上ばかりに目を向けたりするのではなく、気持ち良く走ったり、自分の能力に応じて取り組んだりできるようにする。今年度の学校評価アンケートにおいて「体育、業間活動、昼休みなどに体を動かすことは好きですか。」という項目で90%以上の児童が「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」と回答することを目指す。
また、業間マラソンや大縄跳びでは、通年ではぴりゅうスポーツ広場を活用し、児童に使用を定着させることで、継続的、且つ自発的な運動への取り組みを促したい。

<児童の運動習慣の育成について>

- ① 複数の学年で合同体育を実施し、仲間と関わり合う場面(チーム戦等)を保障することで、仲間と一緒に運動をする楽しさや競い合う楽しさを感じられるようにする。
- ② 各運動領域において、スモールステップによる授業展開を意識することで、運動に対する抵抗や苦手意識を軽くするとともに、児童に「やればできる」という有能感を経験させる。
- ③ 少人数学習であることを生かし、充実した個別指導を行っていく。各運動領域における運動技能の習得を保障することで、運動に対する自信を付けさせる。
- ④ はぴりゅうスポーツ広場を活用しながら学年に応じた運動に取り組み、楽しみながら進んで運動する習慣が付くことを目指す。

<その他>

- ① 長期休業後には、チェックカードにより1週間程度、生活習慣を見直す期間を設け、児童の実態を把握するとともに、家庭との連携を図りながら児童のより良い生活習慣の形成を図る。